

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	管財課	室・部・局	財務部	予算事業コード	105100
-----	-----	-------	-----	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	集会場整備事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	集会施設の設置または改修を行う地区管理団体			に対して	
	手段	建築または改修事業費に対して補助			を行うことで	
	受益者	当該施設利用地区住民			が(を)	
	意図	地域活動の充実を図る			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	昭和 47 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○ 主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○ 負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	1/2(限度有)
	5,737	6,488	5,928	4,000	単価を定めている→算式	
				定額補助・負担	その他 ()	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	千円		R1歳出決算額	千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		%		○ 決算額を把握していない	
				翌年度繰越額		0千円

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成している	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	地域活動の減退	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	改修内容・件数の予測が難しく、適正な予算確保が困難		

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	管財課	室・部・局	財務部	予算事業コード	105200
-----	-----	-------	-----	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	公民センター改修事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
②支出の根拠	関市地区公民センターの維持管理及び修繕等に係る費用負担の基準				
	改修等を行う公民センター				
③支出先	改修等を行う公民センター				
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	改修等を行う公民センター			に対して
	手段	補助			を行うことで
	受益者	当該施設利用地区住民			が(を)
	意図	充実した地域活動を図ることができる			という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ R 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 18 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課	○	主に支出先団体	その他 ()	
⑧構成員の負担	負担なし	○	負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	1/2(限度有)
	3,038	1,927	2,486	3,000		単価を定めている→算式	
				定額補助・負担	その他 ()		
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	千円		R1歳出決算額	千円		翌年度繰越額
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		%		○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成している	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	地域活動の減退	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	改修内容・件数の予測が難しく、適正な予算確保が困難			